



千葉市都市文化賞2023

ちばの魅力ある景観と建築のために



千葉市都市文化賞 2023 総評

栗生 明

千葉市景観総合審議会委員
千葉市景観総合審議会表彰選考部会部会長
千葉大学名誉教授
栗生明+北川・上田総合計画株式会社顧問



毎回のことですが、審査会での多くの議論の底流には常に「都市文化とはなにか？」という「問い」があります。しかし、この問いには一般解はありません。つまり正解というものがないのです。性別、年齢、職業、さらには時代状況によっても答えは無限に変わります。しかし、人間社会を少しでもより良いもの、住みよいものにしていくために、この奥の深いテーマを問い続けることこそが必要不可欠なことと思われま

す。この賞は便宜上三つの部門に分かれています。ひとつの作品で、二つ、あるいは三つの部門に同時応募されることがあります。一方で審査会の議論のうちで応募された部門とは異なる部門で評価される場合もあります。どの部門で評価するかは「都市文化とはなにか？」という問いと密接にかかわってきます。「YohaS アリーナ ~本能に、感動を。~」と「TIPSTAR DOME CHIBA (千葉 JPF ドーム)」は建築文化部門に応募されました。どちらも建築文化部門の優秀賞に値する完成度の高い魅力的な建築でした。一方でこのふたつの建築は隣接し、「対」をなすことで、見事に千葉公園再整備における景観的シンボルとなっています。議論の末、このふたつの建築を「景観まちづくり部門」の優秀賞として評価することにしました。

昨年より「C-HOPE賞 (ホープ賞)」が設けられました。優秀賞としての評価は難しいものの、これからの期待したいと思われる作品が対象とされます。本年度は「手づくり公園まさごの会」が選ばれました。長年放置され、荒れ果てた空き地に対し、地域住民が立ち上がり、手作り公園として整備が始まりました。以来10年をかけて、ガチャポン井戸やドラエモン土管の設置、花壇づくりやピオトープの維持管理など、地域住民のボランティア活動によって、居心地の良い公園として成長し、さまざまなイベントも行われています。行政主体、あるいは企業活動の一環としてのまちづくりと異なり、地味な活動と見られがちですが、本来のまちづくりの「最良のモデル」として応援したいと思います。

さて、グランプリは「the RECORDS」が選ばれました。築35年のビジネスホテルの再構築ですが、「リノベーション」「コンバージョン」といった昨今よく見られる建築手法の枠組みを大きく踏み越えたアイデアとセンスに驚かされました。以前の風除室を除去し、床・壁をぶち抜くといった荒療治をしているのですが、荒々しい切断面をそのまま意匠として残すことで、堆積した時間と空間の変容が同時に読み取れます。タイトルの「the RECORDS」(記憶の蓄積と記録の塗り替え)が体現されたこの作品は「建築文化部門」「景観広告部門」「景観まちづくり部門」全てにおいて高く評価されました。「猥雑と洗練」、「自然と人工」、「証跡と変容」、「賑わいと沈黙」。この作品は「都市文化」そのものを活写したものと感じられました。

千葉市都市文化賞

千葉市都市文化賞は、景観法の制定や千葉市都市景観条例の改正を契機として、より幅広く魅力ある景観形成を実現するため、都市を彩るまち並みや広告物、地域やまちづくりの活動などの表彰制度として、平成23年度から始め、今年度で13回目を迎えました。この表彰制度には、魅力ある景観を創出しているまち並みや建築物群、景観を守り育てるまちづくりの活動などを対象とした「景観まちづくり部門」、魅力ある景観を創出している広告物を対象とした「景観広告部門」、意匠及び機能性に優れ、良好な景観を形成している建築物を対象とした「建築文化部門」の3部門を設けています。

千葉市景観総合審議会表彰選考部会 委員

加藤 幸枝 [有限会社クリマ代表取締役]
菊竹 雪 [東京都立大学システムデザイン学部教授]
栗生 明 [千葉大学名誉教授]
小堀 哲夫 [法政大学デザイン工学部建築学科教授]
霜田 亮祐 [千葉大学大学院園芸学研究院准教授]
古内 時子 [株式会社ふるうち設計室代表取締役]
松浦 健治郎 [千葉大学大学院工学研究院准教授]
山崎 誠子 [日本大学短期大学部准教授]
河原 泰 [公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部千葉地域部幹事]
上杉 敬郎 [公募による市民]

◎グランプリ

the RECORDS

所在地／中央区弁天3丁目

施主／株式会社拓匠開発

設計／上領大祐建築設計事務所

ホシガラス一級建築士事務所

株式会社千都建築設計事務所

cooto

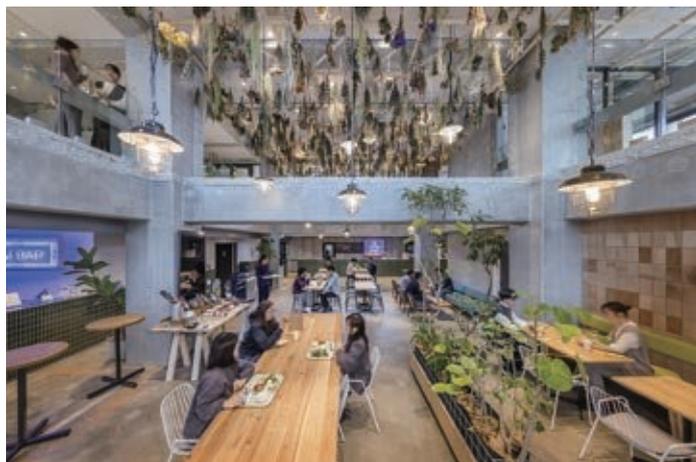
SPACEMAN

施工／松栄建設株式会社

株式会社 Drawer

総合ディレクター／シロアナ

グラフィックデザイン／諸橋 拓実



館内の改修前後フロアマップが上書きされた秀逸なサインから、公園に隣接するという立地特性を生かした開放的なラウンジや屋上テラスなど、公園への新たな視点場として捉える建築のあり方、公園利用者との見る・見られる関係につくられています。このプロジェクトは既存のビジネスホテルの単純なコンバージョンではなく、従前の建物を空間資源としてとらえ、それを生かし、あらたな空間価値やまちの記憶を再生産しうる Regenerative Architecture のひとつのかたちなのかもしれません。

(霜田 亮祐)



◎景観まちづくり部門 優秀賞

ZOZOSTUDIO

所在地／稲毛区緑町1丁目

施主／株式会社 ZOZO

アートディレクション／株式会社 ZOZO

設計・施工／郡リース株式会社

デザイン／株式会社環境計画研究所

ファッション通販会社の新社屋ですが、単なるオフィスではなく、社員同士や地域とのコミュニケーションの活性化を目的とし、1階にコーヒースタンド、屋外にはオープンスペースが併設されています。オープンスペースはイベント利用等ができるフリースペースですが、普段は公園として活用されていて、たくさんのお子どもたちが元気に駆け回り、保護者の方々がカフェに立ち寄るなど、地域との良好な関係性が構築されている様子が伝わってきます。

(加藤 幸枝)



◎景観まちづくり部門 優秀賞

YohaSアリーナ ~本能に、感動を。~、 TIPSTAR DOME CHIBA

所在地／中央区弁天4丁目

「YohaS アリーナ ~本能に、感動を。~」

施主／千葉市

設計／株式会社 INA 新建築研究所

施工／新日本建設株式会社

日幸建設株式会社

撮影／川澄・小林研二写真事務所 (上郎左下写真)

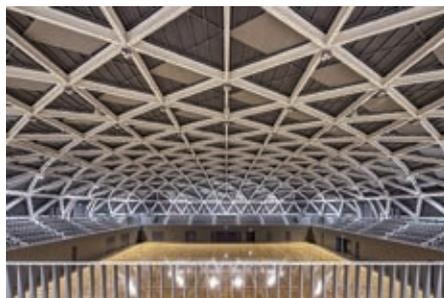
「TIPSTAR DOME CHIBA」

施主／株式会社 JPF

設計／清水建設株式会社一級建築士事務所

施工／清水建設株式会社千葉支店

千葉公園再整備の一環として整備された競輪場と体育館の建替えです。公園東側の道路沿いには無表情な壁面が建ち並び、閉鎖的な印象でしたが、再整備後は広場に変わることで開放的な雰囲気となりました。両建物とも敷地の高低差を活かしたり、曲線を多用することで圧迫感を軽減したり多様な内部空間を生み出すといった工夫は共通しています。両建物は隣り合っており、駐車場を集約することで広場を確保するなど一体的で良質な都市空間を創造していると高く評価できます。(松浦 健治郎)



◎景観広告部門 優秀賞

スタジオ・チッタ

所在地／中央区末広1丁目
施主／株式会社スタジオ・チッタ
設計／株式会社スタジオ・チッタ

住宅事業を展開するスタジオ・チッタ本社の1階には、暮らしにまつわるセレクトショップが入っており、店舗空間自体が企業のサインとしても機能していると感じました。店舗に取り付けられた丸い袖看板やショップの店名サインなどがトータルに質の高いグラフィックデザインで統一されています。サインデザインが地域に開かれた企業および店舗の魅力を伝える役割の一端を担っていることから、景観広告の可能性を示す好例として評価されました。

(菊竹 雪)



◎建築文化部門 優秀賞

幕張豊砂駅

所在地／美浜区浜田2丁目
施主／東日本旅客鉄道株式会社千葉支社
設計／東日本旅客鉄道株式会社東京建設
プロジェクトマネジメントオフィス
株式会社 JR 東日本建築設計
施工／鉄建建設株式会社東京鉄道支店
撮影／株式会社 JR 東日本建築設計

幕張新都心地区の新駅として2023年3月18日開業。既存の高架とその下部を匠に設計した作品で、電車から降りて改札までの動線は体験したことのない空間となっている。下りホームは地上、上りホームは高架上という形態で、二つの空間を大きな膜構造の折屋根が包み一体的かつ全体に軽やかに見せている。既存の高架の柱はそのままに使いながらホームのための柱・床を土木が担当し、ホームの屋根や駅前広場側を建築が担当したそうだが、全体は統一感のある仕上がりになっている。

(山崎 誠子)



◎建築文化部門 優秀賞

鍋島整形外科新棟

所在地／中央区松波4丁目

施主／医療法人社団ヘルスアンドスポーツ会鍋島整形外科
株式会社アミカル

設計／株式会社アプルデザインワークショップ

施工／宮前建設株式会社

撮影／アーキフォト 北嶋俊治 (左下写真)

2005年に西千葉の住宅地に建設された北棟に、一体的に増築された整形外科の新棟です。幹線道路沿いに建つRC造3階建ての北棟に対し、低層住宅街に面する2階建て鉄骨造の新棟は、高さを抑えた軽やかなづくりの建物となっています。閉鎖的になりがちな診療所の外壁に大々的に半透明の中空ポリカーボネートパネルを用いることで、中にいる人の様子がぼんやりとかがい知れるよう工夫されており、住宅街に安心感をもたらしています。さらに夜になると、中空ポリカーボネートパネルが行燈のように光ることで、地域の安全性を高めることに貢献しています。

(河原 泰)



◎ C-HOPE 賞

手づくり公園まさごの会

所在地／美浜区真砂5丁目

団体／手づくり公園まさごの会

未活用となっていた公園予定地を市民が主体的に整備・維持管理を10年に渡り継続してきた事例です。市への働きかけから日々の植栽管理・清掃まで、参加者の高齢化や資金不足など様々な問題と対峙しつつ「市民が一番良いと感じられる公園」を維持されてきたことは、他の地域の公園あり方を考える上でも示唆するものの多い先駆的な活動であり、これまでの功績を讃えるとともに今後の継続的な活動を期待して「ホープ賞」とさせていただきました。

(古内 時子)



選考結果

◎グランプリ

- ・ the RECORDS

◎優秀賞

景観まちづくり部門 [応募総数9件]

- ・ ZOZOSTUDIO
- ・ YohaSアリーナ ～本能に、感動を。～、TIPSTAR DOME CHIBA

景観広告部門 [応募総数19件]

- ・ スタジオ・チッタ

建築文化部門 [応募総数20件]

- ・ 幕張豊砂駅
- ・ 鍋島整形外科新棟

◎C-HOPE 賞

- ・ 手づくり公園まさごの会

[選考日程]

作品募集:2023年7月1日-9月30日

第1次選考(書類審査):2023年10月25日

第2次選考(現地視察及び書類審査):2023年11月19日

千葉市都市局都市政策課
都市景観デザイン室
〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
千葉市役所高層棟4階
Tel : 043-245-5307 / Fax : 043-245-5559
Mail : keikan@city.chiba.lg.jp

